

COCニュースレター

新座市をキャンパスに！✦(プラス)となる人づくり、街づくり

<No. 10>平成29年3月31日発行
十文字学園女子大学 地域連携推進機構
(COCセンター)

地域で輝く学生たち ～ 1年間の活動を振り返って～

平成28年度も、学生たちは様々な地域活動に参加しました。地域の方との交流を通して、大学の授業とは一味違った学びを体験し、活動の幅を広げています。学生たちの活動を写真とともに振り返ります。

J 和太鼓部が志木市内のマンション「シーズウィッシュ志木」の町内会主催の春まつりに参加し、力強い演奏を披露。好評により夏まつりにも出演しました。



新座市ホームページに、食物栄養学科の学生が考案したレシピが紹介されています。写真は「野菜たっぷりドライカレー」。この他にも「ほうれん草のポタージュ」などがあります。詳細は新座市 HP の【新座の野菜を使ったレシピ】で検索！



新座のオープンカフェで、熊本支援被災地の農家から仕入れたサツマイモを調理した熊本名産の「いきなり団子」と「唐芋(からいも)」を販売。売上金は義援金として熊本県大津町の社会福祉協議会へ寄付しました。



ふるさと新座館で開催したオータムコンサートでは、朗読劇と手話ソングを披露。会場と一体になって盛り上がりました。

新座市商工会主催の「もぐもぐアートフェス」に企画段階から参加。チラシのデザインや設営のほか、当日のスタッフとしても活躍しました。



総合科目「日中通訳」の受講生が「睡足軒」を訪問。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに伴う外国人観光客増加を想定し、観光ボランティアガイドの方から、ガイドのコツなどを学びました。



今年も十文字の森で「プレブラ」(子どもの外遊び事業)を開催。スタッフとして20人以上の学生が参加し、子どもたちを見守りながら一緒に遊びました。

4/1(土)

第3回さくらまつり 黒目川ウォーキングを開催します

本学が主催する「黒目川ウォーキング」を、4月1日(土)に実施します。朝霞台駅前を出発し、黒目川に沿って桜を眺めながら栄緑道まで歩く約6kmのコース。途中にあるチェックポイントのひとつ「妙音沢」では、新品種「ミヨウオンサワハタザクラ」も見られます。

途中のチェックポイントでは、先着で特典も用意。またゴール地点の栄緑道では「さくらまつり」を開催しており、桜の花や模擬店が楽しめます。

当日の参加も受け付けていますので、ぜひお越し下さい。

◆受付：朝霞台駅(北口) 10:00~11:00
のぼりを持ったスタッフが目印です！

※小雨決行、荒天中止



当日は黒目川
周辺で「黒目川
花まつり」も
開催中！



ひとこと

本学がCOC事業に採択されたのは平成26年度。その時に1年生だった学生が新年度から4年生になります。平成29年度は学生の全員がCOCという言葉の響きを知った上でのスタートです。改めて本学の取組について周知を広げていきたいと思えます。次年度もご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

地域連携活動報告

- 2/14 東畑ゼミ生が作成した商店街のファッション誌「LADY BARBA」を新座市に寄贈
- 2/15 プラスちゃんが宇都宮大学を訪問し、学生や教職員、同大学オリジナルキャラクター「宇~太」くんと交流
- 2/25 平成28年度「地域連携共同研究所報告会」開催
- 2/25・26 新座市男女共生フォーラム「プラザまつり」にプラスカフェを出店、プラスちゃんくらぶが参加

【今後の予定】

- 4/1 第3回さくらまつり黒目川ウォーキングを開催
- 4/2 志木市「春のいろは親水公園まつり」にプラスちゃんとプラスちゃんくらぶが参加
- 4/5 春の全国交通安全運動出発式で、文芸文化学科の学生が一日署長を務める

地域連携共同研究所の 研究所報告会を開催しました

2月25日(土)、地域連携共同研究所の研究報告会が、本学のカフェテリアで開催されました。新座市をはじめ、地域で活動する方や本学の教職員ら約53人が参加しました。

研究所の7課題について各研究代表者や研究員が取組を発表した後、外部講師の方が「地域課題解決のイノベーション」をテーマに基調講演を行いました。その後は研究課題ごとのグループに分かれて、発表者・参加者を交えたテーマ別グループセッションを実施。地域の課題を解決するための方法や自分たちができることを話し合いました。参加者は各グループの発表を聞き、様々なアイデアに刺激を受けていました。



教員による研究報告



基調講演をする山田崇氏
(左・内閣府地域活性化化伝道師)と佐々木裕子氏(右・
(株)チェンジウェブ)



グループセッションで意見を交わす地域の方々と
本学教職員



本学のCOC事業も、3月で3年目を終えました。教職員の皆様や地域住民の方々のおかげでここまで進めてくることができ、この場を借りて改めて御礼を申し上げます。最初は消極的だった学生が、活動先で生き生きと動いているという報告を現場の方から聞くと、成長を実感できて私たちも嬉しくなります。来年度もどうぞよろしくお願い致します。いつでも情報募集中です！(編集部)